

オンラインでは得られないものを求めて



生きる希望を野の花に見る

千葉 YMCA ニュースボード

2020年8月1日 第255号

www.ymcajapan.org/chiba/

新生活様式と YMCA

感染症拡大に対処するための「新生活様式」が官民あげて推奨されています。人と人の間隔を空けよ、面と向かっての対話は避けよ、食事は料理に集中し会話は控えめに、などはともかく、人と人の接触を8割減らせ、は YMCA の「みつかる、つながる」に対する大きなチャレンジです。

接触8割減の10のポイントの半数はオンラインの推奨。YMCA もオンラインを活用しますが、それはあくまで「見つきり、つながる」ための入口です。生身の人間同士の出会い、五感を働かせた共感(特に大自然に関わる時)、そして協力作業を通して培われる仲間意識は、「オフ」でこそ得られるものではないでしょうか。

YMCA が 175 年の経験の中で育ててきたノウハウを生かし、「オン」と「オフ」を賢く組み合わせて、皆が「よくなっていく」道を見出しましょう。

◆千葉 YMCA 夏のプログラム

今年の夏は、感染症予防のため特別の配慮のもとに、安全第一でプログラムを創り出しています。

全国の YMCA では公衆衛生の専門家による研修をオンラインで3回実施し、千葉 YMCA スタッフも参加しました。それを基に「野外教育ガイドライン」を作り、プログラムと感染対策を並行して準備して参りました。最初のキャンプは7/25-26から始まり、全部で6本の宿泊キャンプと2本の日帰りデイキャンプを順次実施しています。

今年度初めて実施する「大房岬ファミリーキャンプ」には定員数を上回る18組のご応募がありました。

8月末には小学6年生～現役のボランティアリーダーまでが参加する「大房岬ワークキャンプ」があり、現地のスタッフ指導の下、昨年台風で大きな被害のあった大房岬国定公園内のボランティアワークを行います。

◆インターナショナル・チャリティーラン

今年は10月17日開催の予定でしたが、例年通りに実行するには難題が多く、運動公園での実際のランは取りやめとします。代わりにどのような形ならできるかを、日程を含め検討中です。

◆協力会員プログラム

会員委員会では、例年のように9月初めの土曜日(5日)に楽しい歌の会、9月終わりの土曜日(26日)に健康ウォーキングをと企画していましたが、歌の会のほうは社会事情により取りやめることにしました。

ウォーキングは船橋アンデルセン公園を想定、状況を見ながら具体化します。日が近づきましたらお問い合わせを。

◆少年自然の家 軌道に乗る

年度初め休館でしたが活動を開始、主催事業・自主事業を順調に進めています。

◆船橋地域に会員活動スタート

船橋地域デポを支えるための、新しいワイズメンズクラブが発足しました。千葉ウエストクラブという名で、船橋教会で例会を開き、活動を始めます。

○千葉センター 043-222-3811

○船橋地域デポ 047-425-6366

○千葉市少年自然の家

0475-35-1131

ニュースボード編集: 青木一芳(理事)

メール kkaoki@myad.jp